

平成13年度 文学部 授業計画表 [syllabus]

地3選必・社免歴免選
史東3選・社免歴免選

| | | | |
|---|--|------|---|
| 科目名 | 外国地誌(ヨーロッパ) | 4単位 | (ふりがな) うち だより ふみ 担当者 内田順文 |
| (英文名) World Regional Geography (Europe) | | | |
| 授業のねらいと概要: 地誌の学習とは、ある場所について、様々な種類の地理的知識を得、それを「自分のもの」にする過程だと言えましょう。この時間は、ヨーロッパ世界という、わが国とはまったく異なる自然環境・歴史・文化・社会をもつ地域を正しく理解することによって、国家・民族への偏見をなくすことを目的とし、現代の世界を理解するために必要な一般的な地理常識についても言及します。ゆえあって(その理由は第1時間目に講義します)内容は、おそらくみなさんが初めて聞く意外な事実や素朴な疑問の解明など、いわゆる酒の肴に最適な下世話なヨタ話を中心におもしろおかしく行いたいと思いますが、 <u>知的好奇心に乏しい人には不向きと思われる</u> ので、出席しないで単位のみほしい人は受講しない方がよいでしょう。 | | | |
| なお、みなさんがこの講義を受講するための最低必要条件、講義のルール、受講生の評価方法などについて詳しい説明を行いますので、 <u>少しでも受講する可能性のある人は、必ず1回目のガイダンス授業に出席して下さい</u> 。ガイダンスを聞かなかった人には当講義の履修を遠慮してもらうことがあります。 | | | |
| 教科書と参考図書: 教科書は使用せず、毎時間のはじめに必要なプリントを配布します。参考書は希望があれば紹介します。 | | | |
| 評価法: 前期試験(無し)、後期試験(無し)、レポート(有り)一般に行われているようなデジタル方式の試験は行わず、アナログ方式で評価を行います。つまり、毎回の講義の時間を直接試験と考え、一年を通じての受講の状況をもとにその主観的な印象で評点をつけるのです。したがって単位を欲する学生は、まず早く名前を講義担当者に覚えてもらい、①講義の折々に出す質問に答える、②積極的に手を挙げ意見を述べる、③自発的にレポートを書いて提出する、④目立つ席に座って受講を印象づける、⑤その他独創的な行為を行う、など何らかの方法によって、 <u>毎回講義の内容を正しく理解していることを担当者にアピールする必要があります</u> 。当然ながら、正当な理由のない欠席・遅刻が、担当者にマイナスの印象を与えることはいうまでもありません。 | | | |
| 受講者の数によって変更することがありますので、詳細については、1回目のガイダンスの時間に決定します。 | | | |
| 【授業計画】 | | | |
| 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 | 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 |
| 第1回 | 講義内容についての説明と受講に際しての注意 地誌とは何か？ 地誌と地理学の違い 「芸術」としての地誌とは？ | 第13回 | フランス共和国(1) フランスはラテンか？ゲルマンか？ 2種類の2つのフランスの存在 |
| 第2回 | 総論:世界地誌の中のヨーロッパ 世界地誌の観点からみたヨーロッパの特質とは ヨーロッパの自然環境:日本との違い | 第14回 | フランス共和国(2) フランス人気質:個人主義と合理主義 どうしてこうもフランス人はへそ曲がりなのか？ |
| 第3回 | 総論:ヨーロッパ世界の特質(1) ヨーロッパの民族と文化 あまりに多様な民族の存在とその歴史的な葛藤 | 第15回 | フランス共和国(3) フランスのパンはなぜうまいのか？ フランス人のワインとチーズ |
| 第4回 | 総論:ヨーロッパ世界の特質(2) ヨーロッパの言語と宗教 ヨーロッパを一つにする文化の根元とは？ | 第16回 | ドイチュラント共和国連邦(1) 正統ゲルマン民族の本流としての誇り なぜドイツは2度も世界大戦を起こしたのか？ |
| 第5回 | 総論:ヨーロッパ世界の特質(3) ヨーロッパの農業と食料 すべての文化は食べ物からはじまった！ | 第17回 | ドイチュラント共和国連邦(2) ドイツ人気質:質実剛健と秩序 ドイツ人が真面目・堅物というのは本当か？ |
| 第6回 | 総論:ヨーロッパ世界の特質(4) ヨーロッパの農業と食料(続) 西欧の農業はなぜ進化せねばならなかったか？ | 第18回 | ドイチュラント共和国連邦(3) 東西ドイツ統一の波紋:不況と国粧主義 他人事ではない民族問題 |
| 第7回 | 食料と文明の様式:文化人類学的考察(1) なぜヨーロッパ人は牛を食べるのに、イスラム教徒は豚をヒンズー教徒は牛を食べないのか？ | 第19回 | イタリア共和国(1) イタリアにイタリア人はいない！？ 深刻な南北問題:マフィアがシチリアで生まれた理由 |
| 第8回 | 食料と文明の様式:文化人類学的考察(2) なぜヨーロッパ人は牛乳を飲むのに、東アジア人は飲まないか？ 日本人が酒に弱いのはなぜか？ | 第20回 | イタリア共和国(2) イタリア人気質:決して倒れない斜塔 イタリア人は本当に陽気でお気楽か？ |
| 第9回 | 総論の結論: なぜ近代ヨーロッパは世界を征服できたか？ ヨーロッパの価値観が世界中に広まった理由 | 第21回 | エスパニヤ(1) イベリア半島:そこはヨーロッパでないヨーロッパ 深刻な南北問題と民族問題 |
| 第10回 | 連合王国(1) ヨーロッパの端にあった島国が、なぜ世界を征服できたか？ 産業革命が英国ではじまった理由 | 第22回 | エスパニヤ(2) エスパニヤ人気質:イタリア人よりもっとお気楽か？ エスパニヤとポルトガルはどこが違うか？ |
| 第11回 | 連合王国(2) 「紳士(ジェントルマン)の国」の実情 ワールドカップサッカー出場国のナゾ | 第23回 | 旧ソ連と東欧(1) 社会主義国家はなぜ崩壊したか？ 再燃する民族対立の図式 |
| 第12回 | 連合王国(3) なぜ英国の料理はまずいのか？ 英国人とビール:パブの文化 | 最終回 | まとめ:芸術としての地理学 最新ヨーロッパ旅行情報 ほんとうの「旅」とは？ その方法は？ |